

ハイボン30ファイン中塗 U

☐ 規格
☐ 一般名称
☐ 特長

国土交通省 機械工事塗装要領（案）・同解説（令和3年2月版） 日本ペイント規格

弱溶剤形ポリウレタン樹脂塗料用中塗

- ・塗装作業性が良好です。
- ・塗料用シンナーで希釈でき、塗装作業性にすぐれます。
- ・弱溶剤を使用しているため旧塗膜および素材を起こしたり、痛めることがほとんどありません。
- ・耐水性・耐薬品性にすぐれています。

☐ 塗料性状

塗料液(主剤)		硬化剤
色		無色～淡黄色
密度(g/cm ³)(23℃)		1.24 (混合塗料) 1.27 (塗料液) 1.00 (硬化剤)
光沢		半つや
引火点		45℃
発火点		45℃
190℃ (参考値)		288℃ (参考値)
消防法 表示	化学名	合成樹脂エナメル塗料
	危険物区分	合成樹脂クリヤー塗料
	危険物等級	第4類 第2石油類(非水溶性)
有機溶剤区分		III (火気厳禁)
毒劇物表示		第3種
有害物表示		第3種
国連/指針番号		ポリイソシアネート
1263/128		1866/128
環 境 性 能	クロルビリス	配合せず
	キシレン	配合せず
	キシレン(モノマー)	配合せず
	フタル酸ジ-n-ブチル	配合せず
	フタル酸ジ-2-エチルヘキシル	配合せず
フェノールカルバ		配合せず
鉛		配合せず
T V O C		21.8%

・塗料性状に記載の数値は、全て代表的な色相、つやを想定しています。

・加熱残分(%)：68 (混合塗料) 68 (塗料液) 69 (硬化剤)

☐ 塗装基準

下地調整：
 混合：
 荷姿：
 ポットライフ：
 希釈剤：
 塗装方法：

・施工基準書に準じた下地調整を行ってください。

2液形のため、「塗料液(主剤)：硬化剤=9：1(重量比)」に混合し、十分にかくはんしてください。

16kgセット(塗料液(主剤)：硬化剤=14.4kg：1.6kg)、4kgセット(塗料液(主剤)：硬化剤=3.6kg：0.4kg)

6時間(23℃)

塗料用シンナー-A、塗料用シンナー-SA

塗 装 方 法	スプレー	はけ塗り
希 釈 率	0～5%	0～10%
使 用 量	0.22kg/m ² /回	0.18kg/m ² /回
膜厚(ドライ)	40μm	40μm
膜厚(ウェット)	95μm	95μm

・上記各数値は、施工基準書に準拠したものとなり、被塗物の形状や気象条件等で各数値は増減することがあります。

施工基準書に従って塗装してください。

・一次圧0.4～0.5MPa 二次圧12～15MPa チップNo.163-615、617など

エアレス条件：

乾燥時間：

	5℃	23℃	30℃
指 触 乾 燥	2時間	1時間	30分
半 硬 化 乾 燥	3時間	2時間	1時間
塗 り 重 ね 乾 燥	1日以上10日以内	1日以上10日以内	1日以上10日以内

・乾燥時間は目安です。使用量、通風、湿度および素地の状態によって異なります。

・塗り重ね乾燥時間は、施工基準書に定められた数値となっております。気象条件や被塗物の状態によって、その値に変動がありますので、塗膜状態を確認してから塗り重ねをするようにしてください。

□ 注 意 事 項

- ・下地調整など塗装基準の詳細については、各施主様の指針書をご参照願います。
- ・硬化剤は湿気に変質しやすいので密栓して貯蔵してください。
- ・塗り重ね日数がオーバーした場合、ペーパー掛け、シンナー拭きなどで目粗ししてから塗り重ねてください。
- ・2液弱溶剤反応形樹脂を使用しているため、希釈時、シンナーが浮いた状態になりますが、かくはんすると問題なく混ざります。
- ・塗料用シンナー以外(例えばエポキシシンナー等)での希釈は避けてください。

- ・洗い溶剤はラッカーシンナーをご使用ください。
 - ・水・アルコール系溶剤の混入は絶対に避けてください。
 - ・塗装場所の気温が5℃以下、湿度85%以上、また換気が十分でなく結露が考えられる場合は塗装を避けてください。
 - ・エアレス塗装は飛散防止措置を講じてください。
 - ・塗装後短期のうちに、降雨や結露など、水分の影響を受けると白化することがあり、このような白化面にそのまま塗り重ねると層間付着性が悪く、はく離するおそれがありますので、ペーパー掛け、シンナー拭きなどで白化した層を除去してください。
 - ・塗装間隔は厳守してください。
 - ・強溶剤エポキシ樹脂塗料(ビュアエポキシ・変性エポキシ)の塗り重ねは、避けてください。
 - ・没水部などへの適用は避けてください。
 - ・溶剤系塗料のため、室内での塗装は必ず換気を行ってください。また、外部での塗装においても、換気口・空気取入口などに養生を行い、溶剤蒸気が室内に入らないように注意してください。居住者へのご配慮をお願い致します。
 - ・作業前に容器に記載している「安全衛生上の注意事項」をご参照ください。
 - ・塗料漏洩の原因になりますので、保管・運搬時に容器を横倒しにしないでください。
- 製品安全に関する詳細な内容は安全データシート(SDS)をご参照ください。